

資料編

資料編 目次

資料編 I 基準年の活動量及び温室効果ガス排出量	1
資料編 II 取組状況調査結果	3
II-1 職員取組状況調査結果	3
II-2 施設管理者取組状況調査結果.....	12
資料編 III 温室効果ガス削減可能量の試算結果	17
資料編 IV 用語集.....	18

資料編 I 基準年の活動量及び温室効果ガス排出量

神河町の平成26（2014）年度の対象施設における活動量及び温室効果ガス排出量を以下に示します。

表 1 平成26（2014）年度の対象施設における活動量及び温室効果ガス排出量（1）

対象施設		活動量					温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)							
		燃料使用量					電気使用量 (千kWh)	燃料使用					電気使用	総排出量
管理区分	課・施設	ガソリン (k l)	軽油 (k l)	灯油 (k l)	A重油 (k l)	LPG (t)		ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPG		
本庁舎	本庁舎・中央公民館	30.54	5.84	0.90	0.00	0.17	551.90	71	15	2	0	1	288	377
支所・出先機関	センター長谷	0.00	0.00	0.10	0.00	0.01	21.10	0	0	0	0	0	11	11
支所・出先機関	大河内保健福祉センター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	60.20	0	0	0	0	0	31	32
支所・出先機関	神崎支庁舎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	121.09	0	0	0	0	0	63	63
支所・出先機関	あじさい苑	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	6.17	0	0	0	0	0	3	3
支所・出先機関	CATV局舎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	223.02	0	0	0	0	0	116	116
支所・出先機関	CATVサブセンター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.98	0	0	0	0	0	5	5
支所・出先機関	新野駅自由通路照明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.95	0	0	0	0	0	8	8
支所・出先機関	防犯灯	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.74	0	0	0	0	0	16	16
支所・出先機関	産廃処分場	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.66	0	0	0	0	0	0	0
支所・出先機関	神河町フードセンター	0.00	0.00	0.00	0.00	37.63	1,102.53	0	0	0	0	113	576	688
支所・出先機関	道の駅（大黒茶屋）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	21.78	0	0	0	0	0	11	11
支所・出先機関	水車公園	0.00	0.00	0.00	0.00	1.33	53.78	0	0	0	0	4	28	32
支所・出先機関	かんざきビノキオ館	0.00	0.00	1.26	0.00	0.00	66.88	0	0	3	0	0	35	38
支所・出先機関	ホテル リラクシア	0.00	0.00	79.00	0.00	0.00	738.05	0	0	197	0	0	385	582
支所・出先機関	ホテル モンテローザ	0.00	0.00	38.85	0.00	0.00	222.61	0	0	97	0	0	116	213
支所・出先機関	峰山高原リゾート ホワイトピーク	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0
支所・出先機関	ヨーデルの森	0.00	0.00	20.59	0.00	8.42	646.30	0	0	51	0	25	337	414
支所・出先機関	グリーンエコー笠形・改善センター	0.00	0.00	5.07	52.00	3.77	389.97	0	0	13	141	11	204	368
支所・出先機関	新田ふるさと村	0.00	0.00	1.99	0.00	0.46	136.43	0	0	5	0	1	71	78
支所・出先機関	桜華園管理組合	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.84	0	0	0	0	0	1	1
支所・出先機関	道路街灯（町道）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	49.37	0	0	0	0	0	26	26
支所・出先機関	越知谷水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	66.49	0	0	0	0	0	35	35
支所・出先機関	根宇野水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	78.66	0	0	0	0	0	41	41
支所・出先機関	粟賀水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	321.16	0	0	0	0	0	168	168
支所・出先機関	大山水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	92.64	0	0	0	0	0	48	48
支所・出先機関	猪俣水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	21.25	0	0	0	0	0	11	11
支所・出先機関	大河内水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	228.12	0	0	0	0	0	119	119
支所・出先機関	上小田水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.08	0	0	0	0	0	4	4
支所・出先機関	川上水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.06	0	0	0	0	0	4	4
支所・出先機関	湊水道施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.95	0	0	0	0	0	3	3

表 2 平成26（2014）年度の対象施設における活動量及び温室効果ガス排出量（2）

対象施設		活動量					温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)							
		燃料使用量					電気使用量 (千kWh)	燃料使用					電気使用	総排出量
管理区分	課・施設	ガソリン (k l)	軽油 (k l)	灯油 (k l)	A重油 (k l)	LPG (t)		ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPG		
支所・出先機関	栗賀南部浄化センター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	224.39	0	0	0	0	0	117	117
支所・出先機関	大山浄化センター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	313.42	0	0	0	0	0	164	164
支所・出先機関	大河内浄化センター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	228.12	0	0	0	0	0	119	119
支所・出先機関	福本処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	252.25	0	0	0	0	0	132	132
支所・出先機関	神崎第1処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	177.69	0	0	0	0	0	93	93
支所・出先機関	川上処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	111.36	0	0	0	0	0	58	58
支所・出先機関	南小田処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	62.02	0	0	0	0	0	32	32
支所・出先機関	本村処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	31.96	0	0	0	0	0	17	17
支所・出先機関	神崎コミプラ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	95.43	0	0	0	0	0	50	50
支所・出先機関	上小田処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	67.55	0	0	0	0	0	35	35
支所・出先機関	大川原処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	51.76	0	0	0	0	0	27	27
支所・出先機関	栗処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	31.95	0	0	0	0	0	17	17
支所・出先機関	神崎総合病院	1.75	0.16	0.00	24.42	0.83	2,981.40	4	0	0	66	3	1,556	1,629
支所・出先機関	越知谷アクティブセンター	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	363.04	0	0	0	0	0	190	190
支所・出先機関	駅前コミュニティホール	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33.5	0	0	0	0	0	18	18
支所・出先機関	旧大山小学校・幼稚園	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35.75	0	0	0	0	0	19	19
支所・出先機関	旧川上小学校・幼稚園	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	243.29	0	0	0	0	0	127	127
支所・出先機関	ふれあい公園	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会	きらきら館	0.44	0.00	5.98	0.00	0.00	27.23	1	0	15	0	0	14	30
教育委員会	地域交流センター	1.32	0.69	3.14	0.00	0.53	46.69	3	2	8	0	2	24	39
教育委員会	はにおか運動公園	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.49	0	0	0	0	0	11	11
教育委員会	町民体育館	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	21.97	0	0	0	0	0	11	11
教育委員会	町民プール	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	522.87	0	0	0	0	0	273	273
教育委員会	神崎体育センター・神崎公民館	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	119.41	0	0	0	0	0	62	62
教育委員会	すばく神崎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.17	0	0	0	0	0	3	3
教育委員会	給食センター	0.23	1.37	1.20	42.00	0.62	95.65	1	4	3	114	2	50	173
教育委員会	旧越知谷小学校	0.00	0.00	3.42	0.00	0.02	40.42	0	0	9	0	0	21	30
教育委員会	神崎小学校	0.00	0.00	0.28	0.00	0.00	188.03	0	0	1	0	0	98	99
教育委員会	寺前小学校	0.00	0.00	1.75	0.00	0.15	52.12	0	0	4	0	0	27	32
教育委員会	長谷小学校	0.00	0.00	1.69	0.00	0.05	19.28	0	0	4	0	0	10	14
教育委員会	旧越知谷幼稚園	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.03	0	0	0	0	0	3	3
教育委員会	寺前幼稚園	0.00	0.00	1.02	0.00	0.01	12.36	0	0	3	0	0	6	9
教育委員会	長谷幼稚園	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	4.28	0	0	2	0	0	2	5
教育委員会	神河中学校	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	215.87	0	0	0	0	0	113	113
教育委員会	町民グラウンド・松ヶ瀬グラウンド	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0	0	0	0	0	0	0
合計		34.28	8.06	167.43	118.42	54.19	12,000.19	80	21	417	321	163	6,265	7,266

資料編 II 取組状況調査結果

II-1 職員取組状況調査結果

1 調査の概要

職員取組状況調査は、職員の施設・職場単位（本庁などは課単位、その他は施設単位）における日常の地球温暖化対策への取組状況について把握することを目的としたものであり、以下の内容について調査を行いました。

調査対象	所属長、出先機関については施設管理者以外の職員 42名
調査期間	令和2（2020）年7月17日～令和2（2020）年8月7日
回収率	88%（配布数：42、回収数：37）

2 調査項目

■ 地球温暖化対策への取組状況に関するアンケート調査（職員）（全92項目）

- ❖ 空調、換気に関する取組 (11項目)
- ❖ 照明に関する取組 (5項目)
- ❖ OA機器に関する取組 (6項目)
- ❖ 公用車使用に関する取組 (15項目)
- ❖ 給湯に関する取組 (5項目)
- ❖ その他の電力使用機器等に関する取組 (11項目)
- ❖ 間接的項目に関する取組 (19項目)
- ❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組 (13項目)
- ❖ 公共事業における環境配慮 (7項目)

3 調査結果

(1) 調査結果の概要

地球温暖化対策への取組状況の把握等を目的として実施したアンケート調査について、調査結果の概要を以下に示します。

なお、取組状況は、アンケートによる取組項目への5段階評価及び回答数を加重平均することで数値化したものを「実施率」とし、実施率の高さで評価しました。

- アンケートの結果、調査項目全体の実施率は72%とかなり取組が実施できている結果となりました。
- 「照明に関する取組」は、平均実施率が86%と分類中では最も高く、逆に「公共事業における環境配慮」は、平均実施率が58%と分類中最も低くなっています。

❖ 空調、換気に関する取組	77%
❖ 照明に関する取組	86%
❖ OA機器に関する取組	63%
❖ 公用車使用に関する取組	69%
❖ 給湯に関する取組	76%
❖ その他の電力使用機器等に関する取組	74%
❖ 間接的項目に関する取組	69%
❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組	74%
❖ 公共事業における環境配慮	58%

表 3 地球温暖化対策への取組状況調査結果（1）

分類	No.	取組項目	い 必 ず 実 施 し て	て か な り 実 施 し	い 時 々 実 施 し て	て た ま に 実 施 し	し ほ と ん ど い な い 実 施	し 質 問 に 該 当	実 施 率
1. 空調、換気に関する取組	問1	空調使用時は、室温または設定温度を一定に保っていますか。（冷房時の室温は28℃、暖房時の室温は20℃を目安とする）	8	14	7	3	4	8	71%
	問2	就業時間外や会議室の使用前後における空調の時間短縮化を図っていますか。	12	13	4	4	2	9	77%
	問3	空調使用時は外気の侵入による空調効率低下を防止するため、ドアや窓を確実に閉めていますか。	12	9	4	3	7	9	69%
	問4	空調時の不要な換気を避けていますか。	14	9	2	2	8	9	71%
	問5	クールビズ・ウォームビズを励行していますか。	20	9	3	2	0	10	88%
	問6	灯油ストーブ等は、火力を弱火～中火に絞っていますか。	8	7	4	4	1	20	74%
	問7	断続的に使用する部屋（会議室等）の空調は、電源をこまめに切っていますか。	19	5	3	3	1	13	85%
	問8	エアコンと扇風機を併用し室内の温度ムラを解消していますか。	14	6	2	6	6	10	69%
	問9	ブラインド・カーテンの活用により空調負荷を軽減していますか。	12	6	6	4	6	10	68%
	問10	春や秋の穏やかな日には窓を開放し、自然風を取り入れていますか。	20	11	3	2	1	7	85%
	問11	空調の使用時は、空調設備の空気の吹き出し口付近に空気の流れを遮断するような障害物を配置しないようにしていますか。	24	3	6	1	0	10	89%

表 4 地球温暖化対策への取組状況調査結果（2）

分類	No.	取組項目	必ず実施している	かなり実施している	時々実施している	たまに実施している	ほとんど実施していない	質問に該当しない	実施率
2. 照明に関する取組	問12	使用していない部屋やエリア、日当たりのよいエリアなどは直ちに消灯していますか。	22	9	2	1	3	7	85%
	問13	夜間の巡視により空調・照明・換気などの消し忘れを防止していますか。	22	2	1	3	3	13	84%
	問14	断続的に使用する部屋（会議室、更衣室、倉庫等）の照明は、使用後は必ず切っていますか。	25	7	1	2	1	8	89%
	問15	断続的に使用する場所（廊下、ロビーなど支障のない範囲）での照明はこまめに切っていますか。	19	9	1	2	1	12	87%
	問16	始業時間まで、照明を消灯していますか。（ただし、窓口業務等接客部分のみ点灯）	19	10	2	2	2	9	84%
3. O A 機器に関する取組	問17	パソコンの電源管理（低電力モードの活用や外出時の電源OFFなど）を行っていますか。	11	8	8	3	3	11	73%
	問18	パソコンモニタの輝度を業務に支障の無い範囲で下げていますか。	8	7	6	4	7	12	63%
	問19	スイッチ付き電源タップを活用し、退庁後のOA機器の待機電力消費を防止していますか。	5	5	8	4	9	13	55%
	問20	昼休みはOA機器の電源を切っていますか。	6	1	3	10	11	13	48%
	問21	デスクトップコンピューターでは、本体だけでなくモニタの電源も切っていますか。	9	2	5	6	8	14	59%
	問22	所属の最終退庁者が、所属のパソコンやプリンターの電源が切れていることを確認していますか。	17	4	6	3	3	11	78%
4. 公用車使用に関する取組	問23	荷物の積み降ろし等の降車時や踏切、信号待ちなどではアイドリングストップを実施していますか。	9	5	3	4	9	14	61%
	問24	不用な積載物は、その都度車から降ろしていますか。	17	6	5	1	2	13	83%
	問25	急発進・急加速を防止していますか。	17	9	6	0	1	11	85%
	問26	給油時等にタイヤの空気圧をチェックするようにしていますか。	3	2	15	4	8	12	53%
	問27	近い距離の外出には徒歩や自転車を利用していますか。	13	5	5	5	3	13	73%
	問28	合理的な走行ルートを選択と経済速度による走行に努めていますか。	16	11	3	1	1	12	85%
	問29	外勤の際には乗り合わせて出掛けていますか。	14	7	5	2	1	15	81%
	問30	ガラスの霜取りはスクレーパーや霜防止シートを活用していますか。	5	1	7	6	6	19	54%
	問31	経済運転の指標として燃費を管理していますか。（走行距離と給油量から推計）	6	1	3	5	14	15	46%
	問32	運行記録簿を整備していますか。	19	2	4	1	5	13	79%
	問33	道路工事や渋滞に関する情報交換を実施していますか。	6	5	9	1	8	15	60%
	問34	市販のエコ運転支援装置や燃費計を設置していますか。	3	3	2	3	15	18	42%
	問35	早めのアクセルオフを心掛けていますか。	8	13	7	3	1	12	75%
問36	カーエアコンについて、こまめにオン、オフするなど適切な温度調整を心掛けていますか。	9	11	5	6	2	11	72%	
問37	メンテナンスを適切に行うことで車両の性能低下を防止していますか。	12	8	4	1	3	16	78%	
5. 給湯に関する取組	問38	ガスコンロ使用時は、やかんなど調理器具の大きさに合わせて火力を調整していますか。	14	6	5	0	0	19	87%
	問39	給湯器や湯沸かし器の温度設定を低めに抑えていますか。	10	9	4	2	2	17	77%
	問40	湯沸かし時には必要最小限の量を沸かすようにしていますか。	13	5	9	1	2	14	77%
	問41	湯を沸かすときは、水から温めずに瞬間湯沸かし器等のお湯を利用していますか。	9	2	9	5	2	17	68%
	問42	給湯時期・時間はできるだけ縮小していますか。	12	3	6	3	3	17	73%
6. その他の電力使用機器等に関する取組	問43	便座のフタを使用時以外は閉めていますか。	15	12	4	2	2	9	81%
	問44	電気温水器・温水洗浄便座など温水機器の夜間モードを活用していますか。	6	2	5	5	6	20	58%
	問45	ストーブ、ファンヒーターなど暖房器具は火力を抑えて使用していますか。	5	9	8	2	3	17	68%
	問46	給湯器、瞬間湯沸器、温水洗浄便座などは季節に合わせて設定温度を調整していますか。	6	9	8	2	5	14	66%
	問47	電気ポットは、退室時にコンセントのプラグを抜いていますか。	15	7	4	3	2	13	79%
	問48	台車による荷物の運搬以外では、直近階や階下への移動は階段を使用していますか。（エレベーターは来客者用として位置付け）	18	2	4	0	0	20	92%
	問49	機器を使用しない時には、業務に支障のない範囲で主電源を切っていますか。	12	11	3	5	3	10	74%
	問50	トイレ、湯沸室、倉庫など常時利用しない部屋の換気扇は、必要時のみ使用していますか。	17	11	4	1	2	9	83%
	問51	空調を実施しない中間期には、特別な事由がない場合、窓の開閉による自然換気を行っていますか。	14	10	7	1	2	10	79%
	問52	電気ポットの保温設定はなるべく低く設定し、必要な湯量のみとしていますか。	6	8	14	2	3	11	67%
	問53	冷蔵庫の設定温度はできるだけ、夏は「中」、冬は「弱」に設定していますか。	5	6	11	4	6	12	60%

表 5 地球温暖化対策への取組状況調査（3）

分類	No.	取組項目	いる 必ず 実施 して	か な り 実 施 し て	い る 時 々 実 施 し て	た ま に 実 施 し て	し と ん ど い な い 実 施 し て	質 間 に 該 当 し な い	実 施 率
7. 間接的項目に関する取組	問54	部数を把握して必要最小限のコピー・印刷に努めていますか。	15	12	5	0	1	11	84%
	問55	事務連絡等は回覧や電子メールを活用し、FAXや文書配布を削減していますか。	7	14	11	0	2	10	74%
	問56	事務書類(会議用資料、事務手続、報告書等)を簡素化していますか。	9	8	14	1	1	11	74%
	問57	裏面が白紙の使用済み用紙を再利用していますか。	15	9	9	2	0	9	81%
	問58	水道使用時には節水に心掛けていますか。	13	14	6	1	0	10	83%
	問59	職場等で地球温暖化防止に関して情報交換等を行っていますか。	5	7	11	5	8	8	58%
	問60	コピー・印刷は両面使用を厳守していますか。	8	13	6	3	3	11	72%
	問61	コピー機使用後は設定をリセットし、ミスコピーを防止していますか。	17	6	9	0	1	11	83%
	問62	雑誌(名刺サイズより大きな紙)の資源回収を推進していますか。	13	9	10	1	0	11	81%
	問63	ノー残業デーを実施していますか。	12	6	9	2	5	10	71%
	問64	用紙類の処理に関する判断基準を設け、リサイクル率の向上を図っていますか。	7	7	12	1	5	12	66%
	問65	機密文書のリサイクル化を推進していますか。	9	8	6	4	5	12	68%
	問66	ノーカーデーの取組を拡大していますか。	0	0	1	4	20	19	25%
	問67	会議資料等は、ワンペーパー化(規格統一)するように工夫していますか。	9	6	11	3	3	12	69%
	問68	作成文書等は電子媒体による保存を心掛け、用紙の使用を極力避けていますか。	7	6	12	6	2	11	66%
	問69	雨水利用タンクの設置により、雨水を散水などに利用していますか。	1	2	3	0	17	21	34%
問70	毎月のエネルギー使用量を記入するシートを作成するなど、毎月のエネルギー使用量の「見える化」を行っていますか。	3	4	7	3	13	14	47%	
問71	用紙サイズの統一化(A4版化)により用紙使用の合理化を図っていますか。	8	11	9	3	1	12	74%	
問72	パソコンからプリントするときは、必ずプレビューを確認してから印刷を行っていますか。	15	9	8	3	0	9	81%	
8. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組	問73	古紙(機密文書等は除く)やトナーカートリッジ等のリサイクルに努めていますか。	13	12	4	2	1	12	81%
	問74	個人のごみは持ち帰っていますか。	7	7	9	3	9	9	60%
	問75	分別を徹底し、廃棄するごみの削減を図っていますか。	12	14	8	0	2	8	79%
	問76	庁内会議及び自治体を招集した会議等では、原則、封筒を配布しないようにしていますか。	9	14	6	2	1	12	78%
	問77	パンフレット等の作成は必要性等十分考慮し、必要最小限の部数に止めていますか。	16	10	5	1	0	12	86%
	問78	物品の長期使用に努めていますか。	17	14	3	0	0	10	88%
	問79	使い捨て容器による飲料や弁当等の購入を自粛していますか。	6	4	12	5	6	11	59%
	問80	マイ箸、マイカップの持参により、割り箸、紙コップ等の使用を抑えていますか。	14	8	9	4	1	8	77%
	問81	資料やカタログ類は無料提供であっても必要なもの以外は受け取らないようにしていますか。	6	8	11	4	6	9	62%
	問82	ファイル類は再使用に努めていますか。	8	16	9	2	0	9	77%
	問83	ポスター、カレンダー等の裏面にメモ用紙や名刺等に活用していますか。	7	8	11	4	6	8	63%
	問84	使用済封筒を庁内メール用封筒等として再使用していますか。	13	11	9	1	0	10	81%
	問85	使用していない筆記用具はストック置き場に戻していますか。	12	8	12	4	0	8	76%
9. 公共事業における環境配慮	問86	基本構想や基本計画・基本設計などから環境への負荷の少ない事業推進を図っていますか。	4	7	8	1	2	22	69%
	問87	環境に配慮した工事標準仕様書などを作成していますか。	3	2	10	2	3	24	60%
	問88	契約を結ぶ際には、グリーン購入法、環境配慮契約法に基づき、環境性能を含めた総合的な評価によって契約先を選定していますか。	0	2	8	3	6	25	46%
	問89	リサイクル建材を積極的に使用していますか。	3	2	7	1	6	25	55%
	問90	施設緑化(建物緑化、敷地内緑化など)を推進し、緑化率を高めていますか。	5	7	9	2	2	19	69%
	問91	雨水の貯留浸透施設を利用した水循環設備を導入していますか。	2	2	0	2	12	26	38%
	問92	施設の老朽化などに伴う再整備の際には、環境にやさしいエネルギー機器・省エネルギー機器の導入を検討していますか。	4	5	5	2	6	22	59%
	1. 空調、換気に関する取組			163	92	44	34	36	115
2. 照明に関する取組			107	37	7	10	10	49	86%
3. OA機器に関する取組			56	27	36	30	41	74	63%
4. 公用車使用に関する取組			157	89	83	43	79	209	69%
5. 給湯に関する取組			58	25	33	11	9	84	76%
6. その他の電力使用機器等に関する取組			119	87	72	27	34	145	74%
7. 間接的項目に関する取組			173	151	159	42	87	224	69%
8. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組			140	134	108	32	32	126	74%
9. 公共事業における環境配慮			21	27	47	13	37	163	58%
全体平均			994	669	589	242	365	1,189	72%

(2) 分類別の取組状況

以下に、分類別の取組状況について示します。

❖ 空調、換気に関する取組（11項目）

分類	取組項目	実施率
1. 空調、換気に関する取組	空調の使用時は、空調設備の空気の吹き出し口付近に空気の流れを遮断するような障害物を配置しないようにしていますか。	89%
	クールビズ・ウォームビズを励行していますか。	88%
	春や秋の穏やかな日には窓を開放し、自然風を取り入れていますか。	85%
	断続的に使用する部屋(会議室等)の空調は、電源をこまめに切っていますか。	85%
	就業時間外や会議室の使用前後における空調の時間短縮化を図っていますか。	77%
	灯油ストーブ等は、火力を弱火～中火に絞っていますか。	74%
	空調時の不要な換気を避けていますか。	71%
	空調使用時は、室温または設定温度を一定に保っていますか。(冷房時の室温は28℃、暖房時の室温は20℃を目安とする)	71%
	エアコンと扇風機を併用し室内の温度ムラを解消していますか。	69%
	空調使用時は外気の侵入による空調効率低下を防止するため、ドアや窓を確実に閉めていますか。	69%
	ブラインド・カーテンの活用により空調負荷を軽減していますか。	68%

- 11項目に対する取組実施率は平均77%となりました。
- 実施率が90%を超える取組はなく、最も実施率が低かった項目は「ブラインド・カーテンの活用により空調負荷を軽減していますか」の68%となっています。

❖ 照明に関する取組（5項目）

分類	取組項目	実施率
2. 照明に関する取組	断続的に使用する部屋(会議室、更衣室、倉庫等)の照明は、使用後は必ず切っていますか。	89%
	断続的に使用する場所(廊下、ロビーなど支障のない範囲)での照明はこまめに切っていますか。	87%
	使用していない部屋やエリア、日当たりのよいエリアなどは直ちに消灯していますか。	85%
	始業時間まで、照明を消灯していますか。(ただし、窓口業務等接客部分のみ点灯)	84%
	夜間の巡視により空調・照明・換気などの消し忘れを防止していますか。	84%

- 5項目に対する取組実施率は平均86%と、分類中で最も高くなっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、最も実施率が低かった項目は「夜間の巡視により空調・照明・換気などの消し忘れを防止していますか。」の84%となっています。

❖ OA機器に関する取組（6項目）

分類	取組項目	実施率
3. OA機器に関する取組	所属の最終退庁者が、所属のパソコンやプリンターの電源が切れていることを確認していますか。	78%
	パソコンの電源管理（低電力モードの活用や外勤時の電源OFFなど）を行っていますか。	73%
	パソコンモニタの輝度を業務に支障の無い範囲で下げていますか。	63%
	デスクトップコンピューターでは、本体だけでなくモニタの電源も切っていますか。	59%
	スイッチ付き電源タップを活用し、退庁後のOA機器の待機電力消費を防止していますか。	55%
	昼休みはOA機器の電源を切っていますか。	48%

- 6項目に対する取組実施率は平均63%となっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、OA機器の使用については職員が共通して実施できる取組であることや省エネ効果の高いことから、今後は取組を強化していくことが望まれます。
- OA機器に関する取組の中で最も実施率が低かった項目は、「昼休みはOA機器の電源を切っていますか。」の48%となっています。

❖ 公用車使用に関する取組（15項目）

分類	取組項目	実施率
4. 公用車使用に関する取組	合理的な走行ルートを選択と経済速度による走行に努めていますか。	85%
	急発進・急加速を防止していますか。	85%
	不用品積載物は、その都度車から降ろしていますか。	83%
	外勤の際には乗り合わせて出掛けていますか。	81%
	運行記録簿を整備していますか。	79%
	メンテナンスを適切に行うことで車両の性能低下を防止していますか。	78%
	早めのアクセルオフを心掛けていますか。	75%
	近い距離の外出には徒歩や自転車を利用していますか。	73%
	カーエアコンについて、こまめにオン、オフするなど適切な温度調整を心掛けていますか。	72%
	荷物の積み降ろし等の降車時や踏切、信号待ちなどではアイドリングストップを実施していますか。	61%
	道路工事や渋滞に関する情報交換を実施していますか。	60%
	ガラスの霜取りはスクレーパや霜防止シートを活用していますか。	54%
	給油時等にタイヤの空気圧をチェックするようにしていますか。	53%
	経済運転の指標として燃費を管理していますか。（走行距離と給油量から推計）	46%
	市販のエコ運転支援装置や燃費計を設置していますか。	42%

- 15項目に対する取組実施率は平均69%となっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、公用車使用については職員が共通して実施できる取組であることから、今後は取組を強化していくことが望まれます。
- 公用車使用に関する取組の中で最も実施率が低かった項目は、「市販のエコ運転支援装置や燃費計を設置していますか。」の42%となっています。

❖ 給湯に関する取組（5項目）

分類	取組項目	実施率
5. 給湯 に 関 す る 取 組	ガスコンロ使用時は、やかんなど調理器具の大きさに合わせて火力を調整していますか。	87%
	湯沸かし時には必要最小限の量を沸かすようにしていますか。	77%
	給湯器や湯沸かし器の温度設定を低めに抑えていますか。	77%
	給湯時期・時間はできるだけ縮小していますか。	73%
	湯を沸かすときは、水から温めずに瞬間湯沸かし器等のお湯を利用していますか。	68%

- 5項目に対する取組実施率は平均76%となっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、最も実施率が低かった項目は「湯を沸かすときは、水から温めずに瞬間湯沸かし器等のお湯を利用していますか。」の68%となっています。

❖ その他の電気使用機器等に関する取組（11項目）

分類	取組項目	実施率
6. そ の 他 の 電 力 使 用 機 器 等 に 関 す る 取 組	台車による荷物の運搬以外では、直近階や階下への移動は階段を使用していますか。（エレベータは来客者用として位置付け）	92%
	トイレ、湯沸室、倉庫など常時利用しない部屋の換気扇は、必要時のみ使用していますか。	83%
	便座のフタを使用時以外は閉めていますか。	81%
	空調を実施しない中間期には、特別な事由がない場合、窓の開閉による自然換気を行っていますか。	79%
	電気ポットは、退室時にコンセントのプラグを抜いていますか。	79%
	機器を使用しない時には、業務に支障のない範囲で主電源を切っていますか。	74%
	ストーブ、ファンヒーターなど暖房器具は火力を抑えて使用していますか。	68%
	電気ポットの保温設定はなるべく低く設定し、必要な湯量のみとしていますか。	67%
	給湯器、瞬間湯沸器、温水洗浄便座などは季節に合わせて設定温度を調節していますか。	66%
	冷蔵庫の設定温度はできるだけ、夏は「中」、冬は「弱」に設定していますか。	60%
	電気温水器・温水洗浄便座など温水機器の夜間モードを活用していますか。	58%

- 11項目に対する取組実施率は平均74%となっています。
- 実施率が90%を超える取組は「台車による荷物の運搬以外では、直近階や階下への移動は階段を使用していますか。（エレベータは来客者用として位置付け）」（92%）の1項目となっています。
- その他の電気使用機器等に関する取組の中で最も実施率が低かった項目は、「電気温水器・温水洗浄便座など温水機器の夜間モードを活用していますか。」の58%となっています。

❖ 間接的項目に関する取組（19項目）

分類	取組項目	実施率
7. 間接的項目に関する取組	部数を把握して必要最小限のコピー・印刷に努めていますか。	84%
	コピー機使用後は設定をリセットし、ミスコピーを防止していますか。	83%
	水道使用時には節水に心掛けていますか。	83%
	裏面が白紙の使用済み用紙を再利用していますか。	81%
	雑紙（名刺サイズより大きな紙）の資源回収化を推進していますか。	81%
	パソコンからプリントするときは、必ずプレビューで確認してから印刷を行っていますか。	81%
	事務連絡等は回覧や電子メールを活用し、FAXや文書配布を削減していますか。	74%
	事務書類（会議用資料、事務手続、報告書等）を簡素化していますか。	74%
	用紙サイズの統一化（A4版化）により用紙使用の合理化を図っていますか。	74%
	コピー・印刷は両面使用を厳守していますか。	72%
	ノー残業デーを実施していますか。	71%
	会議資料等は、ワンペーパー化（規格統一）するように工夫していますか。	69%
	機密文書のリサイクル化を推進していますか。	68%
	用紙類の処理に関する判断基準を設け、リサイクル率の向上を図っていますか。	66%
	作成文書等は電子媒体による保存を心掛け、用紙の使用を極力避けていますか。	66%
	職場等で地球温暖化防止に関して情報交換等を行っていますか。	58%
	毎月のエネルギー使用量を記入するシートを作成するなど、毎月のエネルギー使用量の「見える化」を行っていますか。	47%
	雨水利用タンクの設置により、雨水を散水などに利用していますか。	34%
	ノーカーデーの取組を拡大していますか。	25%

- 19項目に対する取組実施率は平均69%となっています。
- 「ノーカーデーの取組を拡大していますか。」（25%）は職員の取組項目全体の中で最も実施率が低くなっています。

❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組（13項目）

分類	取組項目	実施率
8. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組	物品の長期使用に努めていますか。	88%
	パンフレット等の作成は必要性等十分考慮し、必要最小限の部数に止めていますか。	86%
	古紙（機密文書等は除く）やトナーカートリッジ等のリサイクルに努めていますか。	81%
	使用済封筒を庁内メール用封筒等として再使用していますか。	81%
	分別を徹底し、廃棄するごみの削減を図っていますか。	79%
	庁内会議及び自治体を招集した会議等では、原則、封筒を配布しないようにしていますか。	78%
	ファイル類は再使用に努めていますか。	77%
	マイ箸、マイカップの持参により、割り箸、紙コップ等の使用を控えていますか。	77%
	使用していない筆記用具はストック置き場に戻していますか。	76%
	ポスター、カレンダー等の裏面をメモ用紙や名刺等に活用していますか。	63%
	資料やカタログ類は無料提供であっても必要なもの以外は受け取らないようにしていますか。	62%
	個人のごみは持ち帰っていますか。	60%
	使い捨て容器による飲料や弁当等の購入を自粛していますか。	59%

- 13項目に対する取組実施率は平均74%となっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、最も実施率が低かった項目は「使い捨て容器による飲料や弁当等の購入を自粛していますか。」の59%となっています。

❖ 公共事業における環境配慮（7項目）

分類	取組項目	実施率
9. 公共事業における環境配慮	基本構想や基本計画・基本設計などから環境への負荷の少ない事業推進を図っていますか。	69%
	施設緑化（建物緑化、敷地内緑化など）を推進し、緑化率を高めていますか。	69%
	環境に配慮した工事標準仕様書などを作成していますか。	60%
	施設の老朽化などに伴う再整備の際には、環境にやさしいエネルギー機器・省エネルギー機器の導入を検討していますか。	59%
	リサイクル建材を積極的に使用していますか。	55%
	契約を結ぶ際には、グリーン購入法、環境配慮契約法に基づき、環境性能を含めた総合的な評価によって契約先を選定していますか。	46%
	雨水の貯留浸透施設を利用した水循環設備を導入していますか。	38%

- 7項目に対する取組実施率は平均58%と、分類中で最も実施率が低くなっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、全ての項目の実施率が70%を下回っています。
- 公共事業における環境配慮の中で最も実施率が低かった項目は、「雨水の貯留浸透施設を利用した水循環設備を導入していますか。」の38%となっています。

II-2 施設管理者取組状況調査結果

1 調査の概要

施設管理者取組状況調査は、施設における日常の地球温暖化対策への取組状況について把握することを目的としたものであり、以下の内容について調査を行いました。

調査対象	施設管理者 42名
調査期間	令和2（2020）年7月17日～令和2（2020）年8月7日
回収率	79%（配布数：42、回収数：33）

2 調査項目

■ 地球温暖化対策への取組状況に関するアンケート調査（施設管理者）（全45項目）

- ❖ 空調、換気に関する取組（7項目）
- ❖ 照明に関する取組（5項目）
- ❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組（19項目）
- ❖ その他の取組（14項目）

3 施設管理者取組状況調査結果

(1) 調査結果の概要

地球温暖化対策への取組状況の把握等を目的として実施したアンケート調査について、調査結果の概要を以下に示します。

なお、取組状況は、アンケートによる取組項目への5段階評価及び回答数を加重平均することで数値化したものを「実施率」とし、実施率の高さで評価しました。

- アンケートの結果、調査項目全体の実施率は58%と取組が浸透していない結果となりました。
- 「ごみの廃棄・リサイクルに関する取組」は、平均実施率が62%と分類中では最も高く、逆に「空調、換気に関する取組」は、平均実施率が51%と分類中最も低くなっています。

- ❖ 空調、換気に関する取組 51%
- ❖ 照明に関する取組 60%
- ❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組 62%
- ❖ その他の取組 56%

表 6 地球温暖化対策への取組状況調査結果

分類	No.	取組項目	必ず実施している	かなり実施している	時々実施している	たまに実施している	ほとんど実施していない	質問に該当しない	実施率
1. 空調、換気に関する取組	問1	エアコンのフィルタを定期的に清掃(1~2回/月)していますか。	4	0	11	7	5	15	53%
	問2	空調機器の運用マニュアルを作成・統一していますか。	7	4	2	0	13	16	54%
	問3	施設の閉館時間の30分~1時間前に空調の熱源を切っていますか。(送風のみとする)	4	5	1	3	11	18	50%
	問4	窓ガラスに断熱フィルムを施工していますか。	0	2	0	0	21	19	25%
	問5	冷房期間中、すだれなどを利用し空調室外機への日光の直射を防止していますか。	5	4	1	4	10	18	52%
	問6	室内温度や外気温を測定し、空調使用や温度設定の参考としていますか。	7	6	7	1	5	16	67%
	問7	緑のカーテン、遮光シート等で日射・遮蔽を行っていますか。	5	4	3	1	13	16	50%
2. 照明に関する取組	問8	照明エリアと照明スイッチの相関図をスイッチ付近に表示していますか。	5	3	0	0	21	13	40%
	問9	屋外照明等は、安全の確保に支障のない範囲で消灯していますか。	14	6	2	1	3	16	81%
	問10	照明器具の清掃、適正な時期での交換を実施していますか。	9	7	6	2	8	10	64%
	問11	照度に応じて照明を間引いていますか。(二灯並列型蛍光灯等)	6	7	2	0	13	14	55%
	問12	LED照明への更新を行っていますか。	8	7	5	1	10	11	61%
3. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組	問13	インクジェットプリンタのインクカートリッジは業者回収を徹底していますか。	19	0	1	0	3	19	88%
	問14	コンポスト化や家庭用生ごみ処理機を普及していますか。	0	1	0	0	12	29	25%
	問15	フリーマーケットを開催していますか。	0	1	0	1	11	29	26%
	問16	リサイクル情報の広報を行っていますか。	3	1	0	1	10	27	41%
	問17	マイバック運動を推進していますか。	5	3	0	1	9	24	53%
	問18	自治会との連携強化を行っていますか。(分別回収の強化)	5	1	4	1	7	24	56%
	問19	地元商店街や事業者との連携を行っていますか。(過剰包装の見直し、再生容器の利用等)	3	1	4	0	9	25	47%
	問20	原則、課室内の肩かごを廃止し、分別ボックス(袋)のみとしていますか。	4	3	2	1	14	18	45%
	問21	物品等は必要最小限の量を計画的に購入していますか。	13	6	7	1	3	12	77%
	問22	包装は簡素なものを選択し、不要な包装箱等は納入業者に引き取ってもらうていますか。	4	6	3	3	8	18	56%
	問23	備品は、修理等加えながら長期使用に努めていますか。	19	7	2	0	3	11	85%
	問24	詰め替え可能な文具、洗剤等を使用していますか。	19	6	2	0	2	13	88%
	問25	備品等の高効率供用を図るため、不要品の所管替えを促進していますか。	8	7	6	1	6	14	67%
	問26	施設所在地の町が定める廃棄物排出区分に基づく排出方法を定め、分別排出しやすいごみ置き場を設けることで、資源ごみの100%再利用、再資源化を図っていますか。	9	6	7	1	3	16	73%
	問27	シュレッダー屑は再生紙の原料に回すよう努めていますか。	5	4	1	4	9	19	53%
問28	牛乳パックやペットボトルのキャップ等、自治会や小売店等が独自にリサイクルを行っている場合、それらの取組と連携が可能か検討し、資源として活用するよう努めていますか。	5	6	2	2	4	23	66%	
問29	生ごみを堆肥にリサイクルする食品リサイクルを率先実施していますか。	0	1	2	0	14	25	28%	
問30	紙、びん、缶等を引き取る業者にリサイクルの徹底を指導していますか。	3	5	2	3	4	25	60%	
問31	民間のリサイクル業者や地域の自主回収とも連携し、分別を徹底することにより、可能な限り多くのリサイクルに努めていますか。	7	1	7	5	3	19	63%	
4. その他の取組	問32	OA機器購入の際は、国際エネルギープログラム適合商品の中から選定していますか。	4	3	2	1	7	25	55%
	問33	パソコン購入の際は、デスクトップ型に比べて消費電力の少ないノート型の中から選定していますか。	6	2	6	0	7	21	60%
	問34	トイレ用擬音装置を導入していますか。	5	3	0	1	16	17	44%
	問35	有収率の向上により給水量を削減していますか。	6	4	1	3	7	21	59%
	問36	水道水圧の調節により節水に努めていますか。	9	4	5	2	7	15	64%
	問37	節水コマを設置していますか。	4	1	0	2	18	17	37%
	問38	省エネ法に基づき各町有施設のエネルギー使用設備に係る管理標準を定めていますか。	6	2	0	1	18	15	43%
	問39	設備の更新や改修にあわせて管理標準の見直しを行っていますか。	5	1	0	3	15	18	42%
	問40	春、秋の廻りかな日には、出来る限り自動ドアを開放していますか。	8	5	1	1	1	26	83%
	問41	サービス水準を損ねない範囲で、時間別昇降機稼働台数を最小としていますか。	6	1	0	1	2	32	76%
	問42	水漏れの点検を実施していますか。	12	6	6	0	6	12	72%
	問43	施設利用者に対して節水を呼び掛けていますか。	7	7	2	0	13	13	57%
	問44	電気使用のピークカット及び電気使用量の削減を図るため、デマンド監視装置等を設置していますか。	8	1	1	1	12	19	53%
	問45	デマンド警報発令時の対処方法を事前に決めていますか。	5	3	1	1	10	22	52%
	1. 空調、換気に関する取組			32	25	25	16	78	118
2. 照明に関する取組			42	30	15	4	55	64	60%
3. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組			131	66	52	25	134	390	62%
4. その他の取組			91	43	25	17	139	273	56%
全体平均			296	164	117	62	406	845	58%

(2) 分類別の取組状況

以下に、分類別の取組状況について示します。

❖ 空調、換気に関する取組（7項目）

分類	取組項目	実施率
1. 空調、換気に関する取組	室内温度や外気温を測定し、空調使用や温度設定の参考としていますか。	67%
	空調機器の運用マニュアルを作成・統一していますか。	54%
	エアコンのフィルタを定期的に清掃(1~2回/月)していますか。	53%
	冷房期間中、すだれなどを利用し空調室外機への日光の直射を防止していますか。	52%
	施設の閉館時間の30分~1時間前に空調の熱源を切っていますか。(送風のみとする)	50%
	縁のカーテン、遮蔽シート等で日射・遮蔽を行っていますか。	50%
	窓ガラスに断熱フィルムを施工していますか。	25%

- 7項目に対する取組実施率は平均51%となりました。
- 実施率が90%を超える取組はなく、全ての項目の実施率が70%を下回っています。
- 「窓ガラスに断熱フィルムを施工していますか。」(25%)は施設管理者の取組項目全体の中で最も実施率が低くなっています。

❖ 照明に関する取組（5項目）

分類	取組項目	実施率
2. 照明に関する取組	屋外照明等は、安全の確保に支障のない範囲で消灯していますか。	81%
	照明器具の清掃、適正な時期での交換を実施していますか。	64%
	LED照明への更新を行っていますか。	61%
	照度に応じて照明を間引いていますか。(二灯並列型蛍光灯等)	55%
	照明エリアと照明スイッチの相関図をスイッチ付近に表示していますか。	40%

- 5項目に対する取組実施率は平均60%となりました。
- 実施率が90%を超える取組はなく、実施率が70%を下回る項目は5項目中4項目となっています。
- 照明に関する取組の中で最も実施率が低かった項目は「照明エリアと照明スイッチの相関図をスイッチ付近に表示していますか。」の40%となっています。

❖ ごみの廃棄・リサイクルに関する取組（19項目）

分類	取組項目	実施率
3. ごみの廃棄・リサイクルに関する取組	インクジェットプリンタのインクカートリッジは業者回収を徹底していますか。	88%
	詰め替え可能な文具、洗剤等を使用していますか。	88%
	備品は、修理等加えながら長期使用に努めていますか。	85%
	物品等は必要最小限の量を計画的に購入していますか。	77%
	施設所在地の町が定める廃棄物排出区分に基づく排出方法を定め、分別排出しやすいごみ置き場を設けることで、資源ごみの100%再利用、再資源化を図っていますか。	73%
	備品等の高効率供用を図るため、不要品の所管替えを促進していますか。	67%
	牛乳パックやペットボトルのキャップ等、自治会や小売店等が独自にリサイクルを行っている場合、それらの取組と連携が可能か検討し、資源として活用するよう努めていますか。	66%
	民間のリサイクル業者や地域の自主回収とも連携し、分別を徹底することにより、可能な限り多くのリサイクルに努めていますか。	63%
	紙、びん、缶等を引き取る業者にリサイクルの徹底を指導していますか。	60%
	包装は簡素なものを選択し、不要な包装箱等は納入業者に引き取ってもらっていますか。	56%
	自治会との連携強化を行っていますか。（分別回収の強化）	56%
	マイバック運動を推進していますか。	53%
	シュレッダー屑は再生紙の原料に回すよう努めていますか。	53%
	地元商店街や事業者との連携を行っていますか。（過剰包装の見直し、再生容器の利用等）	47%
	原則、課室内の肩かごを廃止し、分別ボックス（袋）のみとしていますか。	45%
	リサイクル情報の広報を行っていますか。	41%
	生ごみを堆肥にリサイクルする食品リサイクルを率先実施していますか。	28%
	フリーマーケットを開催していますか。	26%
	コンポスト化や家庭用生ごみ処理機を普及していますか。	25%

- 19項目に対する取組実施率は平均62%と分類中で最も実施率が高くなっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、実施率が70%を下回る項目は19項目中14項目となっています。
- ごみの廃棄・リサイクルに関する取組の中で最も実施率が低かった項目は「コンポスト化や家庭用生ごみ処理機を普及していますか。」の25%となっています。

❖ その他の取組（14項目）

分類	取組項目	実施率
4. その他の取組	春、秋の穏やかな日には、出来る限り自動ドアを開放していますか。	83%
	サービス水準を損ねない範囲で、時間帯別昇降機稼働台数を最小としていますか。	76%
	水漏れの点検を実施していますか。	72%
	水道水圧の調節により節水に努めていますか。	64%
	パソコン購入の際は、デスクトップ型に比べて消費電力の少ないノート型の中から選定していますか。	60%
	有収率の向上により給水量を削減していますか。	59%
	施設利用者に対して節水を呼び掛けていますか。	57%
	OA機器購入の際は、国際エネルギースタープログラム適合商品の中から選定していますか。	55%
	電気使用のピークカット及び電気使用量の削減を図るため、デマンド監視装置等を設置していますか。	53%
	デマンド警報発令時の対処方法を事前に決めていますか。	52%
	トイレ用擬音装置を導入していますか。	44%
	省エネ法に基づき各町有施設のエネルギー使用設備に係る管理標準を定めていますか。	43%
	設備の更新や改修にあわせて管理標準の見直しを行っていますか。	42%
	節水コマを設置していますか。	37%

- 14項目に対する取組実施率は平均56%となっています。
- 実施率が90%を超える取組はなく、実施率が70%を下回る項目は14項目中11項目となっています。
- その他の取組の中で最も実施率が低かった項目は「節水コマを設置していますか。」の37%となっています。

資料編 III 温室効果ガス削減可能量の試算結果

温室効果ガス削減目標設定にあたり、温室効果ガス削減可能量を以下に示します。

① 削減可能量算定方法（概要）

取組の方針	削減可能量の推計方法
(1) エコオフィス行動の実践	職員アンケート調査結果より、温室効果ガス排出量の削減に向けた配慮行動の実施率（向上分）を設定して推計 削減量 = 各施設の排出量（実績）× 行動による削減効果【%】× 実施率（向上分）【%】
(2) 設備機器の運用の最適化	施設管理者アンケート調査結果より、温室効果ガス排出量の削減に向けた運用改善の実施率（向上分）を設定して推計 削減量 = 各施設の排出量（実績）× 運用改善による削減効果【%】× 実施率（向上分）【%】
(3) 施設の脱炭素化の推進	神河町公共施設等総合管理計画における更新（築 60 年）予定施設の対策（設備更新）を実施した場合の省エネ率（= 削減率）を設定し、削減量を推計 削減量 = 各施設の排出量（実績）× 省エネ率【%】
(4) 公共施設再編による削減量	「神河町公共施設等総合管理計画」では、令和 27（2045）年度までに 30%縮減するとしていることを踏まえ、令和 12（2030）年度までに縮減率が 13.9%達成されるものとして推計
(5) 電気の CO ₂ 排出原単位の低減	電気事業者連合会が「電気事業における低炭素社会実行計画」で掲げた令和 12（2030）年度における排出係数を 0.370 kg-CO ₂ /kWh 程度とする目標に基づき推計

※ 削減可能量算定方法に用いた削減効果（%）及び省エネ率（%）は、環境省の「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル Ver. 1.0」の資料編付表 11、付表 17 に示す削減率を用いています。

② 神河町の事務事業における削減可能量

項目	平成26 (2014) 年度 (基準年) (t-CO ₂)	令和7 (2025) 年度		令和12 (2030) 年度	
		削減量 (t-CO ₂)	削減率	削減量 (t-CO ₂)	削減率
I_神河町の取組	7,266	430	▲5.9%	852	▲11.7%
1_基準年から現況年（2019年度）までの削減量（実績値）		-178		-178	
2_エコオフィス行動の実践（推計値）		115		163	
3_設備機器の運用の最適化（推計値）		24		35	
4_施設の脱炭素化の推進（推計値）		97		227	
5_施設再編（推計値）		372		605	
II_電力事業者の取組（電気のCO ₂ 排出原単位低減）		1,467	▲20.2%	1,824	▲25.1%
合計	7,266	1,898	▲26.1%	2,676	▲36.8%

資料編 IV 環境関連用語集

あ行

❖ インバータ制御

モータの回転速度や出力トルク等を調整する制御システムで、エネルギー消費量やCO₂排出量の削減を図ることができる。

❖ 一酸化二窒素 (N₂O)

常温常圧では無色の気体。麻酔作用があり、笑気とも呼ばれる。CO₂、メタン (CH₄)、クロロフルオロカーボン (CFC) などとともに代表的な温室効果ガスの一つである。温室効果の強さはCO₂を1とすると、一酸化二窒素 (N₂O) では約100倍であり、物の燃焼や窒素肥料の施肥などが発生原因であると言われている。

❖ ESCO事業

Energy Service Companyの略称。省エネルギー化に関し、顧客のエネルギー使用状況の計測・分析、省エネルギー化に向けた設備・機器改修及び運用改善提案、初期投資、設備・機器の保守管理、省エネルギー効果の保証等の包括的なサービスを提供する事業。事業を実施するESCO事業者と顧客は複数年契約を結び、契約期間中、顧客はESCO事業者に対して削減された光熱水費の一部を報酬として支払う。

❖ SDGs (持続可能な開発目標)

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。

❖ エネルギーの使用の合理化等に関する法律 (省エネ法)

省エネ法と略す。1979年6月に制定された法律で、我国の省エネルギー対策を、産業、民生、運輸の各部門の特性に応じて強力に推進する為の基本的な法律。具体的には工場 (及び事業場に) 係る措置等、輸送に係る措置、建築物に係る措置、機械器具に係る措置が定められている。

❖ 温室効果ガスインベントリオフィス

毎年の日本国の温室効果ガスインベントリの作成及び関連調査研究、これに伴う国際対応等業務の遂行を目的として、2002年7月に国立環境研究所地球環境研究センターに設置された。

❖ 温室効果ガス排出係数

エネルギーや温室効果ガス排出源一単位あたりのある活動に伴う温室効果ガスの排出量で、例えば1リットルの燃料を使用した時に排出される二酸化炭素（CO₂）の排出量を算定する係数として使用される。排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条」にも定められている。

❖ 温湿度センサ

温度を計測する温度センサと湿度を計測する湿度センサのどちらの機能も備えているセンサ。

か行

❖ 可変風量制御

空調システム方式の一つ。室温に応じて送風量を変化させる機能を備えており、空調システムが室温を感知し設定されている温度に達したり、その温度を下回ると自動的に風量調整を行い室内温度を一定に保つ。

❖ 可変流量制御

配管系に流れる冷温水の水量を変化させて、空調用熱交換器機や熱源機器の熱交換量・出力や流体の温度を制御する方式のことで、二方（制御）弁を用い、これに伴ってポンプの台数制御や回転数制御を採用する。

❖ 外気冷房システム

外気の温湿度が室内温湿度よりも低い場合に、外気を多く取り入れて冷房に利用することで、空調機の電力や燃料を抑えるシステム。

❖ 環境マネジメントシステム

企業・組織が自主的・継続的に環境への負荷を低減させることを目的としたマネジメントシステム（管理の仕組み）の構築・運用を行うものである。なお、ISO14001は、環境マネジメントシステムを構築・運用する際の遵守事項が盛り込まれた国際規格である。

❖ 管理標準

エネルギー使用設備のエネルギー使用合理化のための管理要領（運転管理、計測・記録、保守・点検）を定めた「管理マニュアル」のこと。

❖ クールチョイス（COOL CHOICE）

環境省が推進している、温室効果ガス排出量の削減のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。

❖ グリーン購入

製品やサービスを購入する際に環境のことを考慮し、環境負荷ができるだけ小さいものを購入すること。

❖ 空気環境基準

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令第2条第1号に規定する基準。

❖ COP

Conference of the Parties（締約国会議）の略称。国際条約の中で、その加盟国が物事を決定するための最高決定機関として設置される会議。地球温暖化の分野では気候変動枠組条約締約国会議のことを指す。年1回会合が開かれ、地球温暖化防止に向けた温室効果ガスの排出削減目標や枠組について議論される。

❖ 国連サミット

「国連持続可能な開発サミット」の略称。ニューヨークの国連本部において2015年9月に開かれた、環境問題と持続可能な開発に関する国連主催の国際会議のこと。193の国連加盟国の首脳や官僚等が参加し、2016年から2030年にわたり国際社会と各国政府によって共有される行動計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。

さ行

❖ 再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。

❖ 三ふっ化窒素（NF₃）

常温常圧では無色の気体でカビ臭を有している。窒素とフッ素からなる無機化合物で、2013年度より温室効果ガスの種類として追加された。

❖ JIS（照度基準総則）

JIS（日本工業規格）で定められている、人々の様々な活動が安全・快適に行える視環境をつくるため推奨する照度基準のこと。

❖ 次世代自動車

ハイブリッド自動車、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車等を指す。2030年までに国内の新車乗用車の5～7割を次世代自動車とする目標が掲げられている。

❖ 省エネ診断

省エネルギー診断。ESCO事業の可能性を調査するための「予備診断（ウォークスルー調査）」と事業の採算性が取れると判断された後に行われる「詳細診断」とに分かれている。

❖ 蒸気ボイラ

単にボイラともいう。燃料の燃焼熱を水に伝え、所要の圧力及び温度の蒸気を発生する装置。

❖ ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

建築物におけるエネルギー量を、建築物・設備の省エネ性能の向上により大幅に削減し（50%以上）、再生可能エネルギーの活用等で年間のエネルギー収支ゼロを目指した建築物の呼称を指す。

❖ 節水コマ

上水道の蛇口内部に取り付けるゴム製又は樹脂製の節水用のコマ。通常のコマの中央部に突起が付いた形状となっており、突起が流出しようとする水流を阻害する。半開時の流出量を5～10%程度抑えるため水道を流しっぱなしにする際の水量を抑えることができ、省資源効果が出る。

❖ 潜熱回収型給湯器

従来型給湯器の一次熱交換器に加え二次熱交換器を設置し、排気ガスの熱を回収して再利用する給湯器。従来型では排気ロスとして大気中に放出されていた潜熱（水蒸気として大気中に放出されていた熱量）をも回収することができ、91～95%の熱効率を達成している。

❖ 全熱交換器

換気の際に逃げる熱や湿度を回収し、空調機器の負荷低減によって省エネが図れる換気機器の一種を指す。空調使用時には全熱交換器を稼働させることで、室内温度の変化を抑えながら換気を行うことができる。

た行

❖ 代替フロン類

オゾン層を破壊しないハイドロフルオロカーボン（HFC）のこと。

❖ 脱炭素社会

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出が実質ゼロとなる社会のこと。

❖ 地球温暖化係数（GWP）

GWPはGlobal Warming Potentialの略称。温室効果ガスのガス種毎の地球温暖化への影響度を示す数値。温室効果を見積もる期間の長さによって変化する。100年間の地球温暖化係数で比較して、同一重量にしてメタン（CH₄）はCO₂の約25倍、一酸化二窒素（N₂O）早く298倍、フロン類は12～1万数千倍となる。

❖ 地球温暖化対策の推進に関する法律

1998年10月2日に可決され、同月9日に公布された法律。地球温暖化防止京都会議（COP3）で採択された「京都議定書」を受け、国、地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むための枠組を定めたもの。

❖ 地球温暖化対策計画

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき政府が策定した地球温暖化に関する総合計画。

計画には2030年度における日本の温室効果ガス削減目標（2013年度の温室効果ガス総排出量に対し26%削減）及び目標達成のための国、地方公共団体が講ずべき施策などがまとめられている。

❖ 地球温暖化対策推進法

「地球温暖化対策の推進に関する法律」の別称。

❖ 蓄電池

一回限りではなく、充電して何度でも使用できる電池のこと。別称二次電池。主なものとして鉛蓄電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池、NAS電池等がある。

❖ デマンド制御

最大需要電力（デマンド値）を計測し、設定した目標値を超過しないように制御して電気代の節減をすること。

❖ 低燃費車

国土交通省が規定する燃費基準を達成した自動車。

な行

❖ 二酸化炭素

常温常圧では無色、無臭の気体で、水に溶けて炭酸となり弱い酸性を示す。石炭、石油、天然ガス、木材など炭素分を含む燃料を燃やすことにより発生する。地球大気中での濃度は微量であるが、温室効果を持ち、地球の平均気温を15℃前後に保つのに寄与してきた。大気中濃度は、産業革命以前280ppm程度であったが、産業革命以降、化石燃料の燃焼、吸収源である森林の減少などによって、年々増加し、地球温暖化の最大の原因物質として問題になっている。

❖ 熱回収ヒートポンプ

気体を圧縮すると温度が上がり、膨張させると温度が下がる性質を活用した技術のこと。冷暖房に同時に対応可能であるとともに、ガスや石油による燃焼方式に比べてCO₂排出量の削減が可能なシステムである。暖房時は屋外の空気熱を取り込み屋内に放出させて利用し、冷房時は屋内の熱を取り込み屋外に放出させることで室温を下げる。

❖ 燃焼制御装置

ボイラの負荷変動に応じて蒸気圧力を一定に保つために、燃料や燃料を燃焼するに必要な空気量を制御する装置。

は行

❖ パーフルオロカーボン類（PFC）

1980年代から、半導体のエッチングガスとして使用されている化学物質で、人工的温室効果ガス。ハイドロフルオロカーボン類ほどの使用量には達しないものの、クロロフルオロカーボン類の規制とともに、最近、使用量が急増している。

❖ ハイドロフルオロカーボン類（HFC）

オゾン層を破壊しないことから、クロロフルオロカーボン類やハイドロクロロフルオロカーボン類の規制に対応した代替物質として1991年頃から使用され始めた化学物質で、近年、その使用が大幅に増加している。

❖ パリ協定

2015年12月にフランスのパリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において採択された、気候変動抑制に関する国際的な協定（合意）。196か国全ての国の参加による地球温暖化対策への枠組としては世界初となり、2016年11月に発行した。

❖ PDCAサイクル

生産技術における品質管理などの継続的改善手法。Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

❖ 比例制御

自動制御における制御対象の目標値との偏差を検出し、偏差に比例した操作量により制御する方法。

❖ フロン類

フッ素と炭素などの化合物で、クロロフルオロカーボン（CFC）、ハイドロクロロフルオロカーボン（HCFC）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の総称。

ま行

❖ 密閉式冷却塔熱交換器

冷却水を熱交換器内に流し、熱交換機の外側に冷却用の外気と水を散布して冷却する冷却塔。冷却水が密閉されているため、冷却水の汚れを嫌うような設備で多く使用されている。

❖ メタン（CH₄）

無色の可燃性気体であり、天然ガスの主成分である。有機性の廃棄物の最終処分場や、沼沢の底、家畜の糞尿、下水汚泥の嫌気性分解過程などから発生する。温室効果ガスのうち、温室効果の原因の約6割を占めるCO₂に次いで、約2割の影響を及ぼす。

❖ モーターダンパ

遠隔操作用のダンパ（空気調和設備のダクトの中間に取り付けて風量を調節する装置）で、風量を機械的に調整するためのものである。電動機の自動制御を行うことで風量を調整する。

ら行

❖ 力率改善制御

自動力率調整装置等を利用して人手を要せずに正確な力率管理を行い、回路電圧の上昇を抑えるようにする制御のこと。

❖ 冷却塔充てん材

冷凍機で使用する。温度上昇した冷却水を外気で冷やすための装置の一部であり、冷却水と外機との接触面積を増やす役割を果たす。

❖ 六ふっ化硫黄（SF₆）

無色無臭の気体で、熱的、化学的に安定して、耐熱性、不燃性、非腐食性に優れているため、変圧器などに封入される電気絶縁ガスとして使用されるほか、半導体や液晶の製造工程でも使われている。